

平成28年度第2回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

○日 時：平成28年6月9日（木） 10:00～11:45

○場 所：自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室

○出席者：立本議長、荒木、稲賀、今西、大塚、影山、木部、久留島、小長谷、小松、佐藤（友）、佐藤（洋）、谷口、寺島、西尾、野家、速水、平川、三田村、安成の各評議員

○陪席者：小泉監事、大崎機構長特別顧問、小池事務局長

○事務局：監査室長、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同施設課長、同財務課課長補佐、その他関係職員

○概 要：
議事に先立ち、機構長からの挨拶、新たに就任した評議員、監事の紹介があった。
また、事務局から、定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認があった。

議 題：

（議事概要）

（1）平成27年度第7回議事概要について（資料1）

機構長から、平成27年度第7回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人に確認いただいた旨報告があり、本評議会の同意を得た。

また、平成28年度第2回教育研究評議会の議事概要署名人として、久留島評議員及び大塚評議員が選出された。

（2）平成28年度第1回書面審議の結果について（資料2）

機構長から、平成28年度第1回教育研究評議会書面審議の結果について報告があった。

（審議事項）

（1）平成27事業年度及び第2期中期目標期間における業務の実績等に関する評価について（資料3）

小長谷理事から、資料3に基づき、平成27事業年度及び第2期中期目標期間における業務の実績等に関する評価について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件に係る今後の取扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の意見等があった。

- ・法人化した頃に比べて、連携が進んでいるように見受けられる。新たに進める基幹研究プロジェクト等を機構としてうまくまとめて、成果が出てくるよう、引き続き積極的に進めてもらいたい。
- ・要覧2016が、一般の方が見ても、機構のことがよく分かるようになってきたのではないかな。
- ・各機関の活動は浸透しているが、機構としての活動はまだ十分に伝わってきていない。2センターを活用していけば、統一体としての機構のイメージができていくのではないかな。
- ・人間文化研究機構には、分かりやすい情報発信だけでなく、より研究レベルでの社会への情報発信において、人文系研究所をリードしてってもらいたい。

（2）総合人間文化研究推進センター及び総合情報発信センターの評価組織について（資料4）

小長谷理事から、資料4に基づき、総合人間文化研究推進センター及び総合情報発信センターの評価組織について説明があり、審議の結果、了承された。

また、本件に関し、以下の意見等があった。

- ・評価の可視化システムについては、国立大学附置研究所・センター長会議人文・社会科学系部会の中でも、定量的評価が定性的評価という点で問題となっており、この問題をどう解決していくのか、人間文化研究機構へ期待が集まっている。
- ・自然系と人文系の評価が違うということがよく議論されているが、理系の中でも、現在、理系で進められている評価について種々意見が出ている。人文系の評価を検討するに当たっては、理系への評価に意見がある人も巻き込んで検討を進めていってはどうか。

（3）平成29年度概算要求について（資料5）

平川理事から、資料5に基づき、平成29年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件に係る今後の取扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

（4）国際日本文化研究センターの副所長2名体制について（資料6）

平川理事から、資料6に基づき、国際日本文化研究センターの副所長2名体制に伴う関連規程の改正について説明があり、審議の結果、了承された。

（5）総合地球環境学研究所次期所長の選考について（資料7）

機構長から、資料7に基づき、総合地球環境学研究所長が平成29年3月31日限りで任期が満了することに伴い、当該機関運営会議から次期所長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。

（報告事項）

（1）総合人間文化研究推進センターの事業概要について（資料8）

平川理事から、資料8に基づき総合人間文化研究推進センターの事業概要について報告があった。

（2）総合情報発信センターの事業概要について（資料9）

佐藤理事から、資料9に基づき、総合情報発信センターの事業概要について報告があった。

（3）人間文化研究機構主要会議委員について（資料10）

機構長から、資料10に基づき、本評議会、経営協議会、本評議会及び経営協議会から選出する委員で構成する会議委員について報告があった。

（4）クロスアポイントメント制度の実施について（資料11）

平川理事から、資料11に基づき、クロスアポイントメント制度の実施について報告があった。

（5）第28回人文機構シンポジウムについて（資料12）

佐藤理事から、資料15に基づき、第28回人文機構シンポジウムについて報告があった。

（6）総合研究大学院大学の予算配分等について（資料13）

小長谷理事から、資料13に基づき、総合研究大学院大学の予算配分等について報告があった。

（7）平成28年度人間文化研究機構教育研究評議会開催日程について（資料14）

機構長から、資料14に基づき、平成28年度人間文化研究機構教育研究評議会開催日程について報告があった。

(8) その他

機構長から、機構長へのインタビューが掲載された新聞記事に基づき、機構長のビジョン、人間文化研究の新しいパラダイムの提示等について、説明があった。

以上、この教育研究評議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成28年8月25日

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

署名人 評議員

久留島 浩

署名人 評議員

大塚 柳太郎